



編集後記

今号にはこれまでの「臨床心理士資格審査の受験資格を取得することができる大学院一覽」に加えて新しく「公認心理師の資格審査の受験資格を取得することができる大学・大学院一覽」を掲載することとなりました。現在も公認心理師の資格取得のためのカリキュラムを整備している大学や大学院はありますので、今回の一覽はまだ全体を把握したものではありませんが、現在のところわかっているものを掲載しました。皆様の参考になればと思います。

今号は、特集として「受験の心理学」に「心理臨床のフィクションとリアル」を取り上げました。受験に関してはこれまで取り上げたことのない領域ですが、受験をする子どもだけでなく、その家族にも多くのプレッシャーがかかり悩みが発生するものです。また受験に受かったことや受からなかったことから派生する様々な心理的な問題、悩みもあります。このような内容について心理職として何ができるのか現状はどうなっ

ているのかについて考察した大変貴重な特集となりました。二つ目の特集ですが、これまで様々なメディアで心理臨床、カウンセラー等が描かれてきました。また、心理の専門職ではないけれど、そのような役割を果たしている人について描かれたものもあります。それらを取り上げ、実際の心理臨床と違うのか、また似ているのかについて考えました。これは社会に向けて私たちが自分たちのことを十分説明できているのか、理解を得られているのかを知る手がかりともなりました。

また、今号には昨年末にご逝去された成瀬悟策先生の追悼記事も掲載しました。日本の心理臨床にとって大変重要な先生であり、臨床心理士の誕生にも大いに貢献された先生でした。先生のご冥福をお祈り申し上げます。

(編集委員長 葛西真記子)

事務局だより

二〇二一年に、日本心理臨床学会は誕生から四〇周年を迎えます。第一回学術大会は九州大学で開催(参加者七五七名)されました。ジェンドリンが特別講演を行っていました。しかし講演の内容は全く思い出すことができません。彼が意外と若かったということと、懇親会の時に大きな和太鼓を叩いていた姿はよく覚えています。大会実行委員長は成瀬悟策先生でした。そして大会事務局は助手と私たち大学院生がお手伝いをいたしました。

あれから四〇年近くがたちました。自分がこの学会のお世話をする事になるうとは夢にも思いませんでした。初代理事長だった成瀬悟策先生も、九五歳の生涯を閉じられました。河合圭雄先生をはじめ、日本心理臨床学会の礎を築いてきた先生方も、鬼籍に入られた方が多くいらっしゃいます。心理の資格をめぐる四〇年間だったのかもしれない。やっと二〇一八年から国家資格の公認心理師が認定されるようになり、この国家資格は、紆余曲折しての誕生であり、多くの先達の熱意と努力の結晶だと思います。

発足当時の大会運営は担当大学に大きく依存していました。パソコンも十分ではなく、ましてEメールもありませんでした。とにかく手作り感あふれる学術大会でした。今や会員数は二万九〇〇〇名を超え、心理学関係では最大の学会となりました。とても大学だけのお世話できる規模ではありません。現在では、事務局員六名が様々な業

務を担当しています。二〇二〇年は横浜国立大学、二〇二一年はお茶の水女子大学が、学術大会の担当校になりました。いずれも会場はパシフィコ横浜になります。四〇周年に向けての企画も検討しているところで、会員の皆様とともに日本心理臨床学会のこれまでを振り返り、あらたな心理臨床学の研究と実践のあるべき姿を考える節目にできればと願っています。

(副理事長 井村修)

心理臨床の広場 24

Vol. 12 No. 2
2020年3月30日発行

- 広報委員 岩倉拓 桑原知 子
- 葛西真記子 津川律 子
- 編集委員 秋田恭志 西野西 子
- 池ノ崎敦 野西野 子
- 内田亮 見健 子
- 佐藤宏平 松本聡 子
- 柴田彩花 山崎貴 子
- 園田雅一 山崎孝 子
- 寺崎真一 山崎明 子
- 東畑開人 山崎江 子

● 編集協力 / 制作 株式会社創元社
〒541-0047 大阪市中央区淡路町4-3-6
TEL 06-6231-9010

● 発行 一般社団法人 日本心理臨床学会
〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-10-1
東京交通会館5階
TEL 03-6273-4061 FAX 03-5223-2755
ホームページ URL <https://www.ajcp.info/>

● 印刷製本 株式会社太洋社

次回予告 (2020年8月発行)